



札幌医科大学
看護部長
工藤 美幸

札幌医科大学
理事長・学長
山下 敏彦

新和ホールディングス
代表取締役
新井 修

札幌医科大学
附属病院
病院長
土橋 和文

札幌医科大学
附属病院
医療情報部長
千葉 弘文

これからの地域医療を支える力に

～新井修氏が札幌医科大学へ1億円の個人寄付。「新井修 札幌医科大学支援基金」創設～

新井修氏(新和ホールディングス代表取締役)が札幌医科大学へ1億円の個人寄付を行ったことを受け、12月4日に同大学にて感謝状の贈呈式が行われた。同大学はこの寄付を基に、「新井修 札幌医科大学支援基金」を創設。地域医療への貢献を目的として、「遠隔医療」「感染症対策」「国際交流」という3つの取り組みを中心として活用する。

寄付を通じて 北海道の地域医療へ さらなる貢献を

新井 新和ホールディングスでは地域貢献する取り組みを積極的に進めており、創業60周年を迎えた2011年から、毎年札幌医科大学へ寄付や医療機器の寄贈などの支援をさせていただいていきます。また、私事ですが来年の1月に70歳となり、ますます古希という一つの節目を迎えるに当たり、次の世代に何が残せるかを考えるようになり、特にならぬ。特にこの数年は自身や家族の健康、医療の大切さを身に染みて感じることも多く、今回個人として1億円の寄付を決定しました。



新井 修 氏(写真右)と
山下理事長(写真左)

山下 この度は多額の寄付を賜り、心より感謝申し上げます。今回の寄付金は、大学における教育・研究の拡充や、附属病院を通じた地域医療の向上のため、有効に使わせていただく予定です。これまで新和ホールディングスさまより多額の寄付や医療機器の寄贈、附属病院でのアンサンブルコンサートなどの開催など、長きにわたりさまざまなご支援を頂き、ありがとうございます。

工藤 附属病院の中でも、看護師や患者さまより感謝の声が上がっています。特に昨年度、寄贈いただいた静脈

可視化装置は患者さまの苦痛軽減につながり、看護師は大変助かっています。また車椅子や歩行補助器は日常で使用することが多く、患者さまから感謝の声を頂いています。



工藤 美幸 氏(写真左)



贈呈式で記念撮影に応じる新井氏(写真右)と山下理事長(写真左)

あり、今後通信技術を活用した遠隔医療は非常に重要だと考えています。体の負担が少ないロボット手術の遠隔指導や、炎症性腸疾患(IBD)など専門性の高い疾患の診療を遠隔でサポートしたり、デジタル化により患者さまの個人情報や安全管理する新たな環境整備も進めていく考えです。



千葉 弘文 氏(写真右)

新井 基金という形で私の名前も冠していただき、身の引き締まる思いです。寄付金は札幌医科大学でいまま最も必要とされることにお役立ていただければと思います。学内で議論を重ねて、有効にご活用いただくことを期待しています。

人手不足と 人材育成が課題

土橋 感染症対策として、本学でコロナ禍を経て積み上げた知見を基に、22年10月に感染症医療教育・支援センターを道内で初めて設置しました。本基金を活用し、地域における感染防止対策や、総合的な感染症対策の人材の育成を推進します。



土橋 和文 氏(写真右)

山下 最後に国際交流の観点としては、本学では5カ国、8大学・団体との交流協定を締結しています。近年はコロナ禍により人的交流の実施ができませんでしたが、今後再開し活性化させていきます。

基金を活用した 札幌医科大学の 取り組み

山下 本学では、今回頂いた寄付金で、新井社長のお名前を冠した「新井修 札幌医科大学支援基金」を創設しました。本学の使命である地域医療への貢献を目的として、「遠隔医療」「感染症対策」「国際交流」という3つの取り組みを中心として活用するほか、附属病院の設備拡充などにも利用する予定です。

年	支援内容
2011	医療・教育・研究の支援として1,000万円を寄付
2011～毎年	札幌交響楽団によるアンサンブルコンサート開催
2012	車椅子22台・ストレッチャー2台を寄贈
2013	車椅子18台・シャワー・浴用ストレッチャー1台を寄贈
2014	歩行補助器25台を寄贈
2015	自動体外式除細動器(AED)5台を寄贈
2016	医療用ベンチベッド8台を寄贈
2017	医療用ベンチベッド8台を寄贈
2018	エマージェンシーカート1台、感染予防パーテーション1台、案内用デスク・イス3セット、文庫用ブックラック2台を寄贈
2019	自動体位変換機能付きエアマットレス10台、輸液ポンプ5台、点滴プロブ5個を寄贈
2020	神経機能障害のリハビリ用訓練機器を寄贈
2021	新型コロナウイルス感染症対策への支援として1,000万円を寄付
2022	新生児ケア用医療ベッド2台、救急医療用ストレッチャー2台、AED1台、歩行補助器1台を寄贈
2023	静脈可視化装置1式、シャワー用車椅子5台、肘掛け跳ね上げ式車椅子1台、車椅子用体重計2台、コルマット2台を寄贈



新和ホールディングスが寄贈した新生児ケア用医療ベッドを新井氏が見学する様子



寄贈した車椅子は夕方まで患者さまに利用される様子